

イタリア

2022年12月8日

海外調査部・ミラノ事務所

2021年のイタリアの輸出は、初めて5,000億ユーロを超え、過去最高額を記録した。内需や投資が回復したほか、エネルギー製品の輸入価格の上昇などが影響し、輸入も拡大した。対内投資は、通信やエネルギー分野を舞台にM&Aが活発化し、前年の引き揚げ超過からプラスに転じた。対外投資もエネルギーや製造業分野によるM&Aを中心に前年から約54倍と急増。対日貿易では輸出入ともに増加したが力強さに欠けた。

■輸出は5,000億ユーロを超えて過去最高を記録

2021年の貿易は、輸出が前年比18.2%増の5,162億6,200万ユーロ、輸入は同26.4%増の4,720億7,000万ユーロとなり、ともに新型コロナウイルス感染拡大前の2019年の水準を超えて回復した。特に輸出は、初めて5,000億ユーロを超えて過去最高額を記録。貿易収支も441億9,200万ユーロの黒字を記録したが、前年の632億9,000万ユーロを下回った。景気回復による国内需要や投資の増加、エネルギーを中心とした輸入物価の上昇などにより輸入額が拡大し、黒字幅は縮小した。

輸出を品目別にみると、医薬品以外のすべての品目で前年を上回って増加した。機械（構成比16.2%）、金属製品（12.0%）、繊維・衣料品・皮革製品（10.6%）、輸送機器（10.2%）といった、イタリアが輸出競争力を誇る品目を中心に、輸出全体の伸びを支えた。最大の輸出品目である機械は前年比14.7%増となった。外需の部分的な回復によって工作機械の輸出などが順調に拡大した。医薬品（6.4%）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて輸出全体が減少した2020年にも堅調に増加したが、2021年は2.2%減となった。

輸出を国・地域別にみると、EU全体（構成比52.3%）が前年比20.0%増と、前年の減少から好調な回復ぶりを見せた。最大の輸出相手国であるドイツ（13.0%）は、19.3%増となった。金属製品（構成比10.6%）が55.2%増、機械（12.2%）が12.3%増となったことが回復に寄与した。

EU域外では、スイス（5.3%）が前年比8.1%増となった。英国（4.5%）は3.9%増と伸びたが、輸出全体に占める構成比は前年から0.7ポイント減少した。英国は、輸出額が200億ユーロを超える主要輸出相手国6カ国のなかでは唯一、

表1 イタリアの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械	72,858	83,532	16.2	14.7	28,217	34,418	7.3	22.0
金属製品	49,072	61,847	12.0	26.0	41,654	58,783	12.5	41.1
繊維・衣料品・皮革製品	46,736	54,818	10.6	17.3	30,086	30,870	6.5	2.6
輸送機器	44,882	52,459	10.2	16.9	38,822	45,168	9.6	16.3
食品・飲料・たばこ	39,615	44,201	8.6	11.6	28,761	32,235	6.8	12.1
化学品	29,710	35,350	6.8	19.0	36,606	47,103	10.0	28.7
医薬品	34,017	33,271	6.4	△ 2.2	29,629	29,991	6.4	1.2
ゴム・プラスチック・非金属鉱物製品	25,671	30,002	5.8	16.9	14,349	17,486	3.7	21.9
その他製造業の製品	23,110	29,864	5.8	29.2	12,616	15,760	3.3	24.9
電気機器	21,970	26,579	5.1	21.0	17,429	22,737	4.8	30.5
コンピューター・電子・光学機器	15,510	17,394	3.4	12.1	28,400	31,913	6.8	12.4
燃料・石油精製品	8,118	13,838	2.7	70.5	5,793	8,852	1.9	52.8
木材・木製品・紙製品・印刷物	8,104	9,460	1.8	16.7	9,107	11,637	2.5	27.8
農林水産物	7,179	7,809	1.5	8.8	14,646	16,307	3.5	11.3
鉱物・石油・天然ガス	967	1,442	0.3	49.1	25,607	48,895	10.4	90.9
合計 (その他を含む)	436,718	516,262	100.0	18.2	373,428	472,070	100.0	26.4

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] イタリア国家統計局 (ISTAT)

2019年の水準を越えず、スペイン(4.9%)を下回り、シェアも減少した。EU域外で最大の米国(9.6%)は16.5%増となり、2011年からの10年間で輸出額は約2倍に拡大し、輸出相手国として急速に存在感を高めている。主要輸出品目では、機械(18.8%)が23.6%増、輸送機器(16.6%)が1.1%増、食品・飲料・たばこ(11.2%)が14.9%増と軒並み回復した。アジア大洋州(10.0%)は前年比15.3%増となった。ただし、ASEAN(1.5%)、日本(1.5%)、香港(0.9%)、インド(0.8%)は、前年の減少から回復したものの、2019年の水準にまでは達しておらず、地域内で回復に濃淡がある。アジア大洋州で最大の輸出相手国である中国(3.0%)は、22.1%増と拡大した。最大の輸出品目である機械(27.2%)が12.9%増、続く繊維・衣料品・皮革製品(20.1%)が42.1%増と、それぞれ前年の減少から大幅に回復したことが寄与した。

■輸入も経済回復、エネルギー価格高騰により増加基調

2021年の輸入額は前年比26.4%増の4,720億7,000万ユーロとなり、輸出と同様に前年の落ち込みから回復し、2019年の水準を上回った。

2021年は新型コロナ感染拡大の影響が低減し、またEUの復興基金を活用した復興パッケージ「復興・回復のための国家計画(PNRR)」によるプロジェクトの実施も開始されたことなどにより、内需や投資の動きが回復。品目別では、最大の輸入品である金属製品(構成比12.5%)が41.1%増、3位の化学品(10.0%)が28.7%増と輸入の回復に寄与。また、鉱物・石油・天然ガス(10.4%)が90.9%増となり、最も輸入を押し上げたが、これは主にエネルギー製品の輸入価格の上昇などが影響した。

国・地域別では、EU(構成比56.7%)が22.8%増となった。最大の輸入相手国であるドイツ(16.0%)は、主要輸入品目の輸送機器(16.4%)が13.1%増、化学品(12.5%)が28.8%増、機械(12.2%)が21.5%増といずれも伸びを示し、全体で23.4%増となった。しかし、輸送機器のなかでも主力の自動車(9.9%)は、2.9%増と小幅な伸びにとどまった。これはドイツの自動車産業が、半導体やその他の電子部品の不足によって生産に支障を来したことが影響した。また輸入先として2位のフランス

表2 イタリアの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	224,793	269,805	52.3	20.0	217,887	267,501	56.7	22.8
ユーロ圏	180,847	217,380	42.1	20.2	181,017	222,193	47.1	22.7
ドイツ	56,085	66,902	13.0	19.3	61,306	75,673	16.0	23.4
フランス	45,189	52,766	10.2	16.8	31,288	39,186	8.3	25.2
スペイン	20,851	25,542	4.9	22.5	20,402	24,177	5.1	18.5
ベルギー	14,930	17,879	3.5	19.8	18,204	21,020	4.5	15.5
オランダ	11,404	15,157	2.9	32.9	22,300	27,741	5.9	24.4
オーストリア	9,281	11,421	2.2	23.1	8,536	10,763	2.3	26.1
非ユーロ圏	43,245	51,597	10.0	19.3	36,852	45,216	9.6	22.7
ポーランド	13,160	16,148	3.1	22.7	9,582	11,889	2.5	24.1
ルーマニア	7,015	8,234	1.6	17.4	6,141	7,147	1.5	16.4
チェコ	5,863	7,053	1.4	20.3	6,342	7,612	1.6	20.0
スウェーデン	4,718	5,410	1.0	14.7	3,829	4,841	1.0	26.4
ハンガリー	4,447	5,368	1.0	20.7	5,053	6,133	1.3	21.4
スイス	25,211	27,252	5.3	8.1	9,715	11,147	2.4	14.7
英国	22,569	23,450	4.5	3.9	8,845	8,068	1.7	△ 8.8
トルコ	7,715	9,533	1.8	23.6	7,457	9,850	2.1	32.1
ロシア	7,076	7,696	1.5	8.8	9,050	17,598	3.7	94.5
アジア大洋州	44,923	51,789	10.0	15.3	54,135	68,038	14.4	25.7
中国	12,851	15,691	3.0	22.1	32,256	38,525	8.2	19.4
ASEAN	7,296	7,946	1.5	8.9	8,424	10,788	2.3	28.1
日本	7,118	7,555	1.5	6.1	3,644	4,455	0.9	22.2
韓国	4,677	5,278	1.0	12.9	3,135	4,236	0.9	35.1
香港	4,268	4,815	0.9	12.8	304	295	0.1	△ 3.0
オーストラリア	3,688	4,317	0.8	17.1	340	609	0.1	79.1
インド	3,028	3,885	0.8	28.3	4,235	6,603	1.4	55.9
台湾	1,453	1,619	0.3	11.4	1,622	2,354	0.5	45.2
ニュージーランド	544	682	0.1	25.4	175	173	0.0	△ 0.9
北米	49,818	58,134	11.3	16.7	17,509	18,610	3.9	6.3
米国	42,433	49,440	9.6	16.5	14,782	15,810	3.3	7.0
カナダ	4,269	4,836	0.9	13.3	1,758	1,734	0.4	△ 1.4
中東	15,187	18,402	3.6	21.2	15,187	21,747	4.6	43.2
アラブ首長国連邦	3,868	4,821	0.9	24.7	4,550	2,073	0.4	△ 54.4
サウジアラビア	3,199	3,339	0.6	4.4	2,962	4,849	1.0	63.7
イスラエル	2,452	3,088	0.6	25.9	731	910	0.2	24.6
カタール	1,056	2,007	0.4	90.0	1,025	2,049	0.4	99.9
アフリカ	15,042	17,957	3.5	19.4	14,604	24,935	5.3	70.7
エジプト	3,077	3,800	0.7	23.5	1,604	2,011	0.4	25.4
チュニジア	2,393	2,856	0.6	19.3	2,088	2,618	0.6	25.4
南アフリカ共和国	1,509	2,252	0.4	49.3	1,308	1,846	0.4	41.2
アルジェリア	1,939	1,763	0.3	△ 9.1	3,142	5,872	1.2	86.9
リビア	876	1,201	0.2	37.1	1,725	6,078	1.3	252.4
中南米	11,836	14,927	2.9	26.1	8,573	10,656	2.3	24.3
合計 (その他を含む)	436,718	516,262	100.0	18.2	373,428	472,070	100.0	26.4

[注] ①アジア大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。北米は、米国、カナダ、メキシコの3カ国の合計値。
②ユーロ圏と非ユーロ圏の合計がEUと合致しないのは統計上どの国にも分類できない誤差脱漏が含まれているため。
③EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
[出所] イタリア国家統計局(ISTAT)

(8.3%)も25.2%増と伸長。ただしドイツ同様、輸送機器(11.7%)は9.1%増だったものの、2019年の水準を下回った。主に自動車(7.8%)輸入が2019年の水準に達しなかったことが要因となった。

EU域外では、英国(1.7%)からの輸入が前年比8.8%減となり、2018年から4年連続で減少した。最大の輸出品である輸送機器(21.1%)が21.3%増、鉱物・石油・天然ガス(9.5%)が4倍と支えたが、化学品(6.9%)が45.4%減、コンピューター・電子・光学機器(5.9%)が45.6%減となり、全体として減少した。米国(3.3%)は7.0%増だったが、2019年の水準に回復していない。金属製品(12.0%)が26.6%増、鉱物・石油・天然ガス(9.4%)が45%増と伸びたが、最大の輸出品である医薬品(17.2%)の14.3%減などが影響し、大幅な伸びとはならなかった。一方、中国(8.2%)は、前年比19.4%増と拡大。前年のコロナ禍でも増加し、2017年から4年連続で増加した。主に機械(13.4%)が37.9%増、電気機器(13.3%)が45.2%増と伸長したことが寄与した。ロシアからの輸入(3.7%)は、94.5%増と急増した。同国は最大の鉱物・石油・天然ガス(68.3%)の輸入先で、同品目の輸入が2.2倍となったことが要因。なかでも、天然ガス価格の高騰が影響し、天然ガス(51.8%)の輸入が2.4倍となった。ロシアからの天然ガスの輸入は、輸入額ベースで、天然ガス輸入全体の46.6%を占めており、ロシアのウクライナ軍事侵攻に対する経済制裁を踏まえ、新たな天然ガスの輸入先の確保がエネルギー安全保障上の喫緊の課題となっている。

2022年上半期の輸出は前年同期比で22.4%増、輸入は44.2%増となった(いずれも季節調整前)。輸出は広範な品目で、またロシアとスイスを除く主要輸出相手国向けに増加している。輸入も同様に増加しているが、天然ガス、原油、電力の平均単価が上昇し、輸入額を押し上げていることが主要因となっている。

2022年上半期の輸出は前年同期比で22.4%増、輸入は44.2%増となった(いずれも季節調整前)。輸出は広範な品目で、またロシアとスイスを除く主要輸出相手国向けに増加している。輸入も同様に増加しているが、天然ガス、原油、電力の平均単価が上昇し、輸入額を押し上げていることが主要因となっている。

■対内直接投資は順調な経済成長などを背景に好調

イタリア銀行によると、2021年の対内直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)は、前年の187億8,200万ユーロの引き揚げ超過から、119億8,100万ユーロに転じた。主要な投資元であるEUのうち、前年引き揚げ超過だったオランダとルクセンブルクがそれぞれ53億7,300万ユーロと44億8,400万ユーロに転じ、ドイツ、フランスの引き揚げ超過幅が縮小したことが影響した。

2021年の主な対内投資案件をみると、スイスの半導体製造STマイクロエレクトロニクスがロンバ

表3 イタリアの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ、%)

	対内投資			対外投資		
	2020年	2021年		2020年	2021年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU	△ 17,888	12,406	-	△ 9,731	11,222	-
オランダ	△ 5,202	5,373	-	△ 8,312	3,317	-
ルクセンブルク	△ 10,064	4,484	-	3,274	9,726	197.1
スペイン	2,427	3,826	57.6	△ 1,136	△ 2,201	-
ベルギー	494	808	63.6	△ 575	△ 3,519	-
スウェーデン	△ 392	168	-	116	89	△ 23.3
オーストリア	1,221	143	△ 88.3	960	140	△ 85.4
ルーマニア	△ 34	106	-	47	363	672.3
デンマーク	△ 429	101	-	△ 402	55	-
ドイツ	△ 3,447	△ 1,057	-	△ 4,571	△ 652	-
フランス	△ 2,757	△ 1,332	-	△ 2,179	2,622	-
スイス	△ 220	673	-	1,333	57	△ 95.7
英国	△ 4,369	△ 1,184	-	5,770	1,867	△ 67.6
ロシア	247	△ 14	-	244	△ 466	-
アフリカ	359	△ 81	-	△ 1,226	△ 1,025	-
アルジェリア	306	37	△ 87.9	△ 911	△ 821	-
チュニジア	35	5	△ 85.7	△ 473	49	-
モロッコ	24	3	△ 87.5	143	78	△ 45.5
北米	1,604	△ 671	-	1,605	5,153	221.1
米国	1,444	△ 401	-	807	4,938	511.9
南米	△ 88	218	-	877	2,827	222.3
ベネズエラ	22	158	618.2	△ 114	△ 4	-
チリ	7	△ 2	-	△ 38	2,457	-
アジア大洋州	204	387	89.7	596	147	△ 75.3
香港	126	177	40.5	△ 1,692	△ 1,590	-
日本	488	130	△ 73.4	△ 315	95	-
韓国	320	55	△ 82.8	131	20	△ 84.7
オーストラリア	99	26	△ 73.7	354	527	48.9
シンガポール	△ 145	19	-	254	46	△ 81.9
中国	△ 875	△ 1	-	1,202	1,232	2.5
台湾	169	△ 13	-	△ 1	19	-
中東	826	△ 28	-	△ 6	△ 1,069	-
サウジアラビア	93	6	△ 93.5	△ 341	△ 503	-
トルコ	493	△ 22	-	414	138	△ 66.7
合計(その他含む)	△ 18,782	11,981	-	274	14,747	5,282.1

[出所] イタリア銀行

表4 イタリアの主な対内直接投資案件(2021年~2022年6月)

＜M&A以外＞					
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
たばこ製造	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ(BAT)	英国	2021年9月	5億ユーロ	フリウリ・ヴェネチア・ジュリア州の州都トリエステに、イノベーションハブを開設したと発表。同ハブはBATの新しいカテゴリーの製品の製造工場、イノベーションラボとなり、リスクを低減した製品の研究、開発、生産を実施。生産ラインでは、Vuse、Velo、gioの新しいタバコが生産され、欧州および世界へ輸出予定。
不動産	ハインズ	米国	2021年10月	3億ユーロ	最先端物流プロジェクトへの主要な投資を発表。ヴェネト州ヴィーヴァーゴにある物流センターを2段階で開発。1段階目は1億2,000万ユーロを投資し、2023年までに20万㎡の面積に4棟の建物を建設。2段階目は最大1億8,000万ユーロを投資予定。
IT	ドクトリブ	フランス	2021年10月	2億5,000万ユーロ	ロンバルディア州ミラノに新しいテックセンターを建設し、医療従事者をサポートするサービスの開発を促進することを発表。市民が迅速かつ簡単に医療にアクセスできるサービスを提供する。
半導体製造	STマイクロエレクトロニクス タワーセミコンダクター	スイス イスラエル	2021年6月	非公表	STマイクロエレクトロニクスは、アグラテ300mm半導体工場(R3)建設に、アナログ半導体のタワーセミコンダクターが参加することに合意したと発表。稼働率を高めて競争力のある半導体ウエハーを実現するため、同工場の量産体制の加速に向けて協力する。
EC	アマゾン	米国	2022年6月	非公表	2022年末までにイタリアで3,000人の新規正規雇用を実施すると発表。これにより同社のイタリアでの総従業員数は2021年末の1万4,000人から1万7,000人以上となり、全土50カ所以上に配置される。

＜M&A＞							
業種	被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
エネルギー	ファルク・リニューアブルズ	インフラストラクチャー・インベストメンツ・ファンド	米国		2022年2月	約23億ユーロ	J.P.モルガンの投資ビークルであるインフラストラクチャー・インベストメンツ・ファンドは、再生可能エネルギー源で発電所を開発、設計、建設、管理を行うファルク・リニューアブルズの株式60%を、同親会社ファルクから取得完了。
通信	オープン・ファイバー	マッコリー・アセット・マネジメント	オーストラリア		2021年12月	約22億ユーロ	投資ファンドのマッコリー・アセット・マネジメントは、イタリアの家庭用ファイバーネットワークを運営するオープン・ファイバーの株式40%を同親会社のエネルギー大手のエネルギーから取得完了。株式取得を通じてイタリアの次世代デジタルインフラ提供をサポートする。
ヘルスケア	ビオファルマ・グループ	アーディアン	フランス		2022年1月	非公表	投資会社であるアーディアンは、食品サプリメント、医療機器、化粧品の開発、製造、パッケージング等を行うビオファルマ・グループの過半数株式を投資会社ホワイト・ブリッジ・インベストメンツから取得することを発表。株式取得により、ビオファルマのさらなる国際化、多様な新製品開発を推進する。
エネルギー	エジソン・リニューアブルズ	クレディ・アグリコル・アシュアランス	フランス		2021年12月	非公表	保険会社クレディ・アグリコル・アシュアランスは、再生可能エネルギー会社エジソン・リニューアブルズの株式49%を取得し、同社の風力および太陽光発電の開発に参加すると発表。株式取得により、エジソン・リニューアブルズの風力および太陽光発電量を、2030年までに4ギガワットまで増加することに貢献する。
通信	エオロ	パートナーズ・グループ	スイス		2021年7月	非公表	投資会社パートナーズ・グループは、固定無線アクセスブロードバンドプロバイダーであるエオロの株式75%を取得することを発表。株式取得により、エオロのイタリア国内でのリーダー企業としての地位を確立し、欧州の主要固定無線アクセスブロードバンドプラットフォームを目指す。

[出所] 各社発表および報道などから作成

ルディア州アグラテ工場敷地内の半導体工場の建設に、アナログ半導体製品を提供するイスラエルのタワーセミコンダクター(TSEM)と協力することを6月に発表。半導体の量産体制の加速に向けて協力する。TSEMはイタリアに全額出資子会社を設立することも発表した。

M&A案件は、特にインフラ整備が急務となっている通信やエネルギー分野において、海外の金融会社によるM&Aが活発だった。

2021年の対外直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)は、前年比53.8倍の147億4,700万ユーロと急増。主力のEU向けが2020年の引き揚げ超過から112億2,200万ユーロに転じ、米国向けは6.1倍となった。

2021年の主な対外投資案件をみると、引き続きエネルギーや製造業関連の案件が目立った。エネルギー分野では、イタリアのエネルギー関連企業が世界の再生可能エネルギープロジェクトへの参画を進めている。M&A案件では、試薬キットなどを製造するディアソリンが7月に、米国の分子・細胞分析ツールや分子診断薬を製造するルミネックスを約18億ドルで買収を完了。米国市場におけるプレゼンスを拡大する。

表5 イタリアの主な対外直接投資案件 (2021年~2022年3月)

＜M&A 以外＞						
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要	
エネルギー	レンコ	アルメニア	2021年10月	非公表	石油・ガス部門のプロジェクト設計およびエンジニアリング会社であるレンコは、アルメニアのエレバンにガス燃料発電所を建設。2021年10月から稼働を開始。フル稼働すれば同国の電力の20%を供給する発電所となる。	
エネルギー	ファルク・リニューアブルズ	英国	2022年1月	非公表	再生可能エネルギー源で発電所を開発、設計、建設、管理を行うファルク・リニューアブルズは、スペインの洋上風力発電開発会社ブルーフロート・エナジーとパートナーシップを組み、英国・スコットランドでの洋上風力発電事業の開発に関する海域リース権益3件の落札を発表。	
エネルギー	サイベム	モロッコ アルバニア	2021年3月	非公表	石油・天然ガス大手のサイベムは、再生可能エネルギー生産・開発会社アルボラン・ハイドロジェン（イタリア）と、グリーン水素生産のための5つのプラントの共同開発と建設に関する覚書に署名。5つのプラントには、アルバニアとモロッコでのプラント開発と建設も含まれ、モロッコではグリーン水素からのアンモニア生産も予定。	
エネルギー	アレリオン・クリーンパワー	ルーマニア	2021年5月 2021年6月	非公表	再生可能エネルギー会社アレリオン・クリーン・パワーは2021年5月、ルーマニアの風力発電会社モンソン・アルマ等とルーマニアにおいて最大約350MWの風力発電所3基を開発する契約の締結を発表。6月にはルーマニア子会社を通じ、ルーマニアで建設中の太陽光発電所3件（合計容量約14.3MW）の株式100%取得完了を発表。	
＜M&A＞						
買収企業 企業名	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
業種	企業名	国籍				
ディアソリン	バイオテクノロジー	ルミネックス	米国	2021年7月	18億ドル	診断機器大手のディアソリンは、バイオテクノロジー企業ルミネックスの買収を完了したと発表。ルミネックスの優れた技術へのアクセスや、米国におけるプレゼンス強化などを図る。
レコルダティ・インダストリア・キミカ・エ・ファルマチュエティカ	医薬品	EUSA ファルマ	英国	2022年3月	7億700万ユーロ	医薬品会社のレコルダティは、同業の希少がん領域に特化したEUSA ファルマの買収完了を発表。患者中心の強い社風と今回の買収で希少疾患ビジネスのさらなる発展を狙う。
レオナルド	防衛電子機器	ヘンゾルト	ドイツ	2022年1月	6億600万ユーロ	航空・宇宙、防衛・安全保障産業大手のレオナルドは、防衛電子機器企業ヘンゾルトの株式25.1%の取得完了を発表。同分野でのポートフォリオを拡大し、欧州の防衛電子機器市場でリーダーとなることを目指す。
ナイス	自動化機器	ノアテック・セキュリティ・アンド・コントロール	米国	2021年10月	2億8,500万ドル	ホームセキュリティおよび自動化機器企業のナイスは、同業ノアテックの買収完了を発表。今回の買収で、ビジネス範囲を拡大し、スマートホームや建物の自動化におけるグローバルリーダーとしての地位を強化する。
ネクシー	IT（デジタル決済サービス）	ネッツ・トプロ2	ルクセンブルク	2021年7月	非公表	欧州で加速するデジタル決済への移行や同サービスへの需要への対応のため、デジタル決済サービス企業ネクシーは、株式交換によって同業ネッツ・トプロ2と合併。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

■対日貿易は輸出入ともに増加したが回復の力強さ欠く

2021年の対日貿易は、輸出が前年比6.1%増の75億5,500万ユーロ、輸入が22.2%増の44億5,500万ユーロとなり、特に輸出が小幅な伸びにとどまり、2019年の水準に回復しなかった。貿易収支は31億ユーロとなり、10年連続で黒字となったが、黒字額は縮小した。

輸出を品目別にみると、最大品目である食品・飲料・たばこ（構成比29.8%）が前年に引き続き増加を維持。同品目の中でも最大額を占めるたばこ（18.9%）が18.3%増で、特にたばこのエキスおよびエッセンス等（18.9%）の輸出が増加した。2019年水準に回復しない品目も多く、全体的に力強さに欠けた。

輸入では、金属製品（7.8%）が主に鉄・鋳鉄・鋼鉄・合金鉄（4.9%）の増加が寄与して前年から2.4倍、また輸送機器（28.5%）が二輪車および二輪自動車（エンジンを含む）（4.8%）等の輸入が回復し、17.0%増と好調だった。輸送機器の中で、最大品目である自動車（15.6%）は4.8%増となったが、2019年水準には届かなかった。

2021年の日本からの直接投資受入額は1億3,000万ユーロと前年比73.4%減となった。NTTデータは11月、ミラノに新本社を開設、今後2025年までに5,000人を雇用し、2億ユーロを投資する予定。2022年5月にイタリア進出40周年を迎えた武田薬品工業は、今後5年間で2億7,500万ユーロを投資

し、トスカナ州ピサとラツィオ州リエティの工場の生産能力の増強や、設備の近代化と環境対応を進める。

M&A 案件では、医療機器製造の朝日インテックは7月に、イタリアの販売代理店カルディアの株式70%を2,800万ユーロで取得。2026年6月までに段階的に100%まで取得し、追加で最大1,200万ユーロ出資する。また、測量・ア

イケア機器等製造のトプコンは7月、眼科用医療機器の設計開発・製造のビジア・イメージングを買収した。農業機械のクボタは10月、ノルウェーの子会社を通じ、トラクタ用作業機器ROCの株式80%を取得すると発表。牧草関連製品を拡充させ、事業展開を加速する。

2021年のイタリアの対日直接投資額は、前年の引き揚げ超過から、9,500万ユーロへと増加に転じた。田辺三菱製薬が販売するウルソ製剤の原薬製造事業を、医薬品原薬等を製造するICEグループカンパニーズに譲渡する事業再編が10月に見られた。新型コロナ感染拡大による影響で、イタリア企業による日本への投資の動きは停滞していたが、その影響も低減し、徐々に投資再開の動きもみられる。

表6 イタリアの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
食品・飲料・たばこ	1,990	2,254	29.8	13.3	13	17	0.4	30.7
繊維・衣料品・皮革製品	1,536	1,604	21.2	4.4	160	195	4.4	22.3
輸送機器	1,067	1,155	15.3	8.3	1,085	1,269	28.5	17.0
医薬品	579	635	8.4	9.7	381	393	8.8	3.2
機械	508	546	7.2	7.6	850	1,034	23.2	21.6
化学品	400	376	5.0	△ 6.0	379	387	8.7	2.0
その他製造業の製品	286	301	4.0	5.2	158	180	4.0	13.5
コンピューター・電子・光学機器	297	211	2.8	△ 28.8	188	246	5.5	31.1
金属製品	104	159	2.1	52.5	142	346	7.8	143.1
ゴム・プラスチック・非金属鉱物製品	117	127	1.7	8.7	157	182	4.1	15.4
電気機器	108	89	1.2	△ 17.6	101	151	3.4	49.5
農林水産物	34	30	0.4	△ 10.3	4	4	0.1	11.0
木材・木工品・紙製品・印刷物	27	25	0.3	△ 9.1	15	18	0.4	26.2
燃料・石油精製品	38	3	0.0	△ 92.3	1	14	0.3	2,299.9
鉱物・石油・天然ガス	2	2	0.0	23.9	1	3	0.1	92.8
合計(その他含む)	7,118	7,555	100.0	6.1	3,644	4,455	100.0	22.2

[出所] イタリア国家統計局 (ISTAT)

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：5,924万人 (2021年)			
②面積：30万2,068km ²			
③1人当たりGDP：3万5,473米ドル (2021年、推計値)			
④実質GDP成長率 (%)	0.5	△ 9.0	6.6
⑤消費者物価上昇率 (%)	0.6	△ 0.2	1.9
⑥失業率 (%)	9.9	9.3	9.5
⑦貿易収支 (100万ユーロ)	60,743	68,213	52,986
⑧経常収支 (100万ユーロ)	57,867	62,107	43,371
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	55,341	61,614	84,002
⑩対外債務残高 (グロス) (100万ユーロ)	2,231,027	2,317,287	2,443,292
⑪為替レート (1米ドルにつき、ユーロ、期中平均)	0.8933	0.8755	0.8455

[注] ⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ

[出所] ①②④⑤⑥：イタリア国家統計局 (ISTAT)、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：イタリア銀行 (中央銀行)

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp